

市P連 親子餅つき大会

令和7年12月20日(土)



懐かしく心温まる 第二回餅つき大会

富士宮市 PTA 連絡協議会は 12 月 20 日、「親子餅つき大会」を JA ふじ伊豆・う宮～などで開催。市内 85 人の親子連れが参加し、つく音と笑い声が響くその光景には、どこか懐かしく、心温まる魅力で溢れていました。

この日は富士宮産のもち米 40 キログラムを用意し、子どもたちも杵を振るいました。「よいしょ～よいしょ～」と掛け声をあげながら餅をつき上げると、きな粉や黒蜜、しょう油、あんこなどを思い思いにトッピングして笑顔で食べていました。食育にちなんだゲームやクイズも行われ、地元産のイチゴや卵、野菜がプレゼントされました。

餅つきは食育の一環として行い、2 度目の企画。昨年初めて開催をし、大変好評を頂き、JA ふじ伊豆富士宮地区の協力をいただき開催しました。なかなかご家庭で行われなくなった日本の伝統行事に触れる機会が設けられ大人や子供の笑顔が溢れていました。当日は市 P 連役員のほか、JA 青壮年部や女性部のボランティアが朝 7 時半から子どもたちが餅をつくための下準備を行いました。

市 P 連の荻真教会長は「JA の皆さんも快く力を貸してくださり、たくさんの子供たちの笑顔を見ることができた。来年も続けていけたら」と話していました。

多田良美樹